

炭素繊維と西陣織が  
織りなす至高の椅子！

平成29年5月16日

有限会社フクオカ機業  
(TEL 075-441-0235)  
(公財)京都高度技術研究所  
(地域産業活性化本部 075-315-3606)

## 先端素材と伝統技術の融合による商品開発について(展示案内)

### — 炭素繊維とガラス繊維の複合材料と西陣織技術による意匠性の高い椅子 —

有限会社フクオカ機業<sup>※1</sup>は、京都西陣の帯メーカーとして「西陣織の技術を新たな分野に生かしたい」という思いから、15年という歳月をかけて西陣織の特徴の一つであるシャトル織機を改良し、折れや擦れに弱い炭素繊維を、機能とデザインを兼ね備えたオリジナルな柄のテキスタイルとして製織する技術を開発致しました。

今回、この技術により、「伝統技術から生まれた高機能繊維織物」と組紐を用いて、華やかで上品な和着物を纏った日本女性の凛とした姿を表現した椅子を製作し、4月にイタリアで開催されました世界最大級の国際家具見本市「ミラノサローネ」に出展し、国内外の多くの企業から反響を得ております。

この度、この美しい椅子を、多くの皆様にも見ていただきたいという思いから、京都市の産業支援機関である(公財)京都高度技術研究所に相談したところ、そのご協力の下に、下記の通り、展示させていただくことが決まりましたので、ご案内申し上げます。



#### 記

1. 展示日程 平成29年5月17日(水)～31日(水)  
火曜～土曜: 10:00 - 17:30(日曜・月曜・祝日: 休み)
2. 場 所 ワコールスタディホール京都<sup>※2</sup> ギャラリー  
(京都市南区西九条北ノ内町6 ワコール新京都ビル1階)

以上

(※1)有限会社フクオカ機業(<http://www.fukuoka-k.co.jp/index.html>)

明治35年、創業者である福岡金次郎が現所で福岡金次郎商店を創業、常に時代を先駆ける織物開発を行ってきました。近年は西陣織の代表的なシャトル織機を改良し、炭素繊維のような高機能繊維でも横糸が連続する耳付織物として商品化しています。

所在地: 〒602-8471 京都市上京区浄福寺通五辻東入一色町35番地の7

創 業: 1902年(明治35年) 設 立: 1946年(昭和21年)

資本金: 500万円 従業員数: 7名

京都市ベンチャー企業目利き委員会 Aランク認定企業

(※2)ワコールスタディホール京都(<http://www.wacoal.jp/studyhall/>)

“美的好奇心をあそぶ、みらいの学び場”として、株式会社ワコールが2016年10月に京都駅八条口の社屋に開設。ギャラリーのほか、スクール講座やライブラリーを通して「美」に関する知識が得られます。

## 1. 炭素繊維について



ポリアクリルニトル樹脂や石油、石炭からとれる樹脂状の物質(ピッチ)等を繊維化して、その後、特殊な熱処理工程を経て作られる「微細なグラファイト結晶構造をもつ繊維状の炭素物質」です。また、炭素繊維は、軽くて、優れた機械的な性質（高比強度、高比弾性率等）と炭素質からくる優れた特性（導電性、耐熱性、低熱膨張率、化学安定性、自己潤滑性、高熱伝導性、生体親和性等）を併せもつため、工業用途では、航空機・クルーザー・車両・住宅等のインテリア・エクステリア製品、商業用途では、アパレル製品・スポーツ用品・カバンなど、色々な用途に幅広く使われています。

## 2. 炭素繊維と西陣織の製織技術について



フクオカ機業では、常に時代を先駆ける織物開発を行っており、「京都西陣の帯メーカーとしての技術を新たな分野に生かしたい」という強い思いから、15年の歳月に渡り、西陣織の代表的なシャトル織機を改良し、炭素繊維のような高機能繊維でも横糸が連続する耳付織物として商品化することに成功しました。また、ジャカード織機を用いることにより、炭素繊維に他の繊維を組み合わせることで、意匠性のある炭素繊維特殊織物を開発する世界で唯一の企業となっております。

## 3. 製作した椅子について



「伝統と革新技术のコラボレーションによる物作り」をデザインテーマとし、京都西陣織の「伝統技術から生まれた高機能繊維織物」と組紐を用い、華やかで上品な和着物を纏った日本女性の凛とした姿を表現しました。先月イタリアで開催されました世界最大級の国際家具見本市「ミラノサローネ」に出展しました。

### <本件に関する問い合わせ先>

有限会社フクオカ機業

代表取締役社長 福岡 裕典(ふくおかひろのり)

TEL: 075-441-0235 Mail: hiro-fukuoka@fukuoka-k.co.jp

(公財)京都高度技術研究所

地域産業活性化本部 企業特化型支援部 孝本(こうもと)

TEL: 075-315-3606 Mail: office\_kanri@astem.or.jp